

## 事前評価個表

整理番号	1
------	---

地域（地区）名	かみかわなんぶ 上川南部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	あさひかわし 旭川市ほか13市町村
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北海道のほぼ中央に位置し、中央には旭岳を主峰とする大雪山系、南部にかけては、夕張山地と日高山脈に囲まれており、それぞれ広大な上川、富良野の各盆地が広がる。中央部には大雪山系を水源とする石狩川が貫通し、南部は石狩川の支流である空知川が流れ、広大な沃野を形成している。</p> <p>本地区の総面積565千haのうち、森林面積は420千ha（森林率74%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は57千ha（人工林率39%）で、トドマツが38%、カラマツが42%を占めており、年齢構成はⅧ年齢級以上が74%と利用期を迎えており、今後、伐採量の増加が見込まれている。</p> <p>また、本地区内の林道延長は402kmで、公道等を含む林内道路密度は13.2m/haとなっており、このほかに林道の支派線として作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち15千ha（人工林の26%）がⅦ年齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、高齢化や後継者不足により森林所有者の森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、森林のもつ水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を目指し、上川南部地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び林業生産基盤整備道の整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：20,915ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：3,210m 林業生産基盤整備道</p> <p>総事業費：5,541,888千円（税抜き5,131,378千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C = 3.30 （総便益（B）= 32,979,972千円、総費用（C）= 10,008,579千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用期を迎えている森林を多く保有し、今後主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を図るため、適正な保育・間伐等の森林整備の実施及びそれに必要な林業生産基盤整備道の整備を実施する事業であり、有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

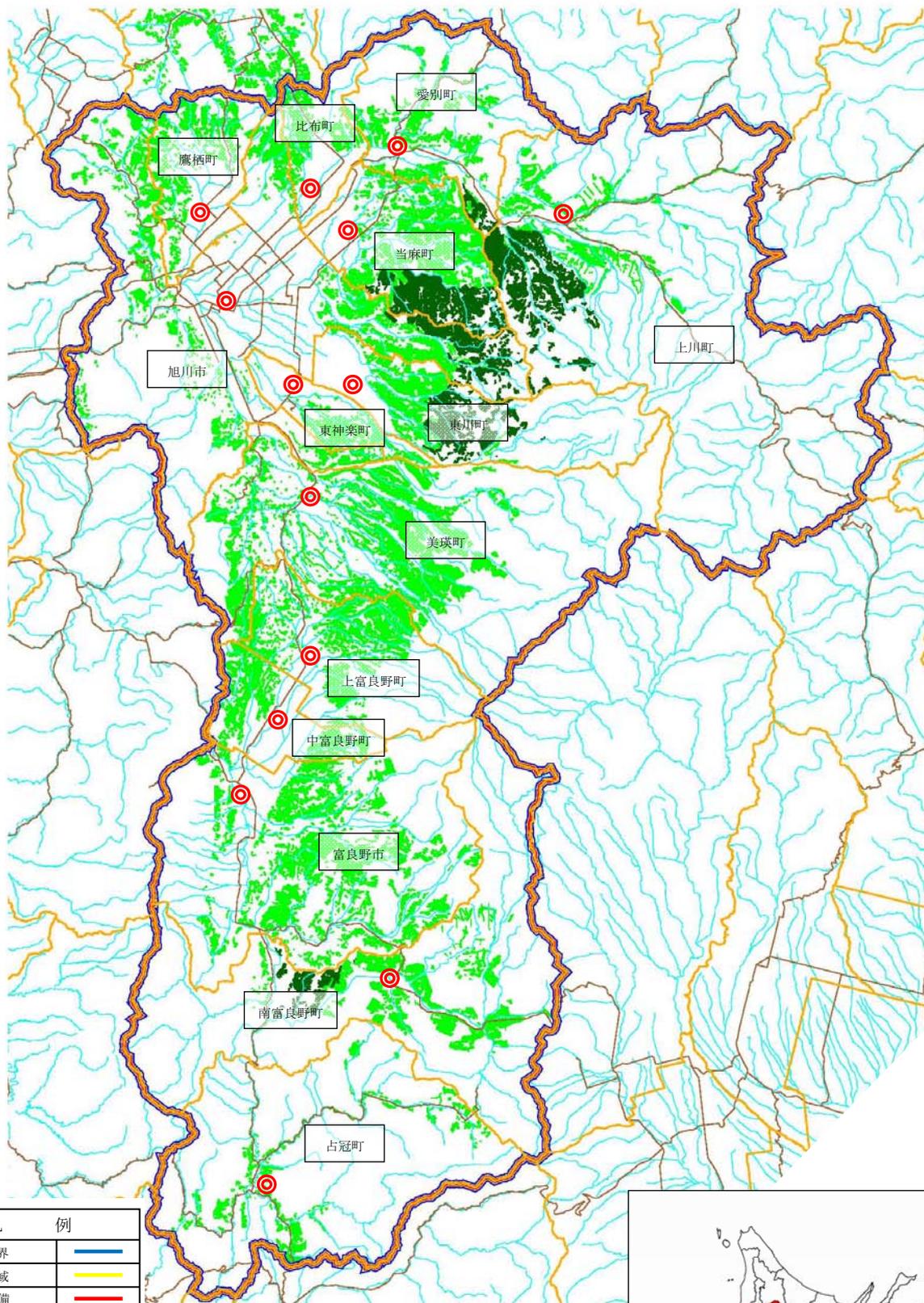
都道府県名: 北海道

地域(地区)名: 上川南部かみかわなんぶ

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <small>かん</small> 便益	洪水防止便益	7,413,097	
	流域貯水便益	2,388,144	
	水質浄化便益	5,092,629	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,182,468	
環境保全便益	炭素固定便益	3,640,879	
木材生産等便益	木材利用増進便益	440	
	木材生産確保・増進便益	4,080,881	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	181,434	
総 便 益 (B)		32,979,972	
総 費 用 (C)		10,008,579	
費用便益比	$B \div C = \frac{32,979,972}{10,008,579} = 3.30$		

# 森林環境保全整備事業 上川南部地域（北海道）



凡	例
計画区界	
事業区域	
森林整備	
国道・主要道	
河川	
市町村界	
市町村役場所在地	
一般民有林 (人工林)	
道有林 (人工林)	